



<当会のホームページ>

<https://www.furusatotaishi.com>

■ 本会のシンボルマークは、大使同士の情報交換及び、その委嘱者との相互交流を主眼に図案化。4つのモチーフからなり、山(緑色/地方・故郷・自然)と矩形(青色/都会・テクノロジー)と円及び輪(黄、橙/人・情報・ネットワーク)を表現。

HEAD LINE

- 【1面】「ふるさと大使」766団体 増加は緩やかに
- 【2面】大使だより 第74回
ヨロンパナウル王国観光大使
ヨロン島観光協会会長 永井新孝
ヨロンパナウル王国観光大使 千波裕美
- 【3面】夏季会員交流会に70名超
——三谷啓子
・ローカル鉄道応援酒「鐵の道」を紹介
- 【4面】アンテナショップを訪ねて
「三重テラス」 ——鈴木克也
・世界とふるさとの懸け橋に——沢井小次郎
・最近1年間に創設された主な大使制度
- 【5面】「ドリーム夜さ来い」を世界共通語に
——扇谷ささと
・滋賀県が日本橋にアンテナショップ
- 【6面】日本の魅力を世界に発信しよう
——佐藤史郎
・「大多喜城立ち葵の会」で講演
——本多忠夫
- 【7面】大歓迎を受けた与論・十五夜踊り
ツアー ——千波裕美
・与論島親善交流記 ——三浦喜代治
- 【8面】本籍地と現住所の取り組みは
ゼロサムか? ——坂本信雄
- 【9面】酒田花火ショーに酔う ——鴨川キヨ
・北海道産直フェアを終えて ——穂山貞夫
- 【10面】桜の植樹でモンゴルに夢を
——まほろば薫
- 【11～15面】全国のふるさと大使制度一覧表
- 【16面】新年会員交流会のご案内
・第16回ドリーム夜さ来い祭り のご案内
・歓迎 新しい会員のご紹介
・全国ふるさと大使連絡会議の概要、編集後記他

「ふるさと大使」766団体 増加は緩やかに ——大使をフル活用できているか見直しを

全国ふるさと大使連絡会議が調べた各地の「ふるさと大使」制度は、全国で766団体、903制度となった。昨年10月以降の創設が確認されたのは7団体(4面下段参照)にとどまったが、新たに判明した制度も含めると、前年同期より19団体・25制度多い。内訳は都道府県が44団体・88制度、市町村が581団体・670制度、観光協会など諸団体が141団体・145制度(詳細は11～15面)。

鳥取県八頭町は昨年10月、町出身の「種まきピアニスト リほり」さん、同町で落語合宿をした落語家の桂三風さんら3人を初の「八頭町観光大使」に委嘱した。

栃木県下野市が今年1月創設したのは「輝け下野エール大使」という元気な名称。昨年のリオ五輪柔道で銅メダルを獲得した高藤直寿選手やお笑いコンビのザ・たち、彫刻家の宇賀地洋子さんら同市出身者や縁の人物7人を委嘱した。市のPRを期待すると同時に大使も応援する双方向の活動を進めるといふ。

福岡県添田町は5月に「そえだまち観光大使」を創設、初の大使として父親が同町出身の女優、熊谷真実さんを委嘱した。

島根県の離島、知夫村は4月、シンガーソングライターの半崎美子さんに「知夫里島観光大使」として委嘱した。

埼玉県寄居町は「寄居町ふるさと大使」を10月に創設、町出身のシンガーソングライター、馬場俊英さんを10月28日に同町で開くコンサートで初委嘱する。

東京・板橋区も7月に「板橋区観光大使」を創設、区内在住の俳優、杉浦太陽さんを初の大使に委嘱した。東京23区では北区アンパサダー、たいとう観光大使などの例があり、大使制度を持つのは7区目になる。

全国の都道府県・市区町村は現在1788あり、その3分の1強が大使制度を持っている。依然、大使制度の創設は続いているものの、増加のテンポはかなりスロウダウンしている。ただ、この制度は、つくればいいというものではない。ご当地ゆかりの著名人がいれば早速、大使に委嘱という例も散見されるが、委嘱側は委嘱しっぱなし、大使の方も単なる肩書として利用するだけという例も数多い。首長が代われれば、以前あった制度を廃止したり、廃止はしないが休眠状態で放置したりする自治体も多い。毎年、大使を呼んで意見を聞くなどの方法をとる自治体もあるが、全体からみれば微々たる数だ。

当会は、言葉は悪いが、当初から「大使をこき使え」と言ってきた。委嘱したからには、その人物の知識・技量・経験や人脈を精一杯活用し、また情報交換を頻繁にして「ふるさと」のために役立てるべきだろう。大使もまた活用されることでさらに貢献の意欲もわくはずである。「仏つくって魂入れず」では、制度が泣く。既に制度を持つ自治体には、改めて制度の活用を考えるよう期待してやまない。

当会のホームページを再開

当会のホームページを10月13日に開設しました。担当者のご不幸で2年半ほど中断し、かねて課題となっていました。ようやく再開の運びとなりました。また当会のメールアドレスも連動して変更しました。

まだスタートしたばかりで、十分な体裁ではありませんが、徐々に充実させていきたいと考えております。会員の皆様も投稿や情報提供等を含め是非ご利用いただきますようお願い致します。

<サイトのURL→<https://www.furusatotaishi.com>>

<メールアドレス→info@furusatotaishi.com>

◆大使だより◆ 第74回 ヨロンパナウル王国観光大使

「エメラルドグリーンに囲まれたヨロン島」

ヨロン島観光協会会長 永井新孝

ヨロン島は鹿児島から南へ563kmに位置する周囲23kmの隆起サンゴ礁の島です。サンゴ礁のリーフに囲まれた小さな島には、ハイビスカスやブーゲンビリアなどの熱帯の花が咲き、エメラルドグリーン的大海では、カラフルな熱帯魚がたくさん泳いでいます。



かつて「東洋の海に浮かび輝く一個の真珠」と謳われたこの島は、昭和47年に沖縄が日本復帰するまでは、日本最南端の国境の島でした。沖縄本島の最北端・辺戸岬までは23kmと、すぐ近くに沖縄本島を望むことができます。飛行機で上空からヨロン島を見ると、リーフの内側はエメラルドグリーンに輝き、白砂と様々な青色のグラデーションは、オーストラリアのグレートバリアリーフと比べても、勝るとも劣らない景色で何度見ても感動します。

島で一番の観光名所である「百合ヶ浜」は、普段は海中に沈んでいて、中潮から大潮の干潮の時間帯になると姿を現します。白砂の砂州が浮かび上がり、海面は太陽の光を受けてキラキラと輝く。海の色が透明から始まり、淡いエメラルドグリーン、そして濃いコバルトブルーに変化する豊かな色彩は自然が創り出す絶景です。島内での過ごし方としてはマリンスポーツや海水浴を楽しんだり、ゆっくりとした島時間を感じながら、のんびり過ごして癒されるのも良いと思います。

ヨロンパナウル王国の語源は島の方言でパナ(花)とウル(サンゴ)に囲まれた王国として昭和58年に建国されました。ヨロンパナウル王国観光大使は、ヨロン島の観光及び特産品の宣伝活動をするにより、観光産業の発展及び振興に寄与して頂くことを目的に平成12年に設けられました。大使制度は町と観光協会が共管していて、今回は観光協会長の私をご紹介させていただきました。

観光大使の皆様には島のPRを中心に活動して頂いております。平成25年の6月に歌手の千波裕美様に観光大使の委嘱をお願いしております。千波様におかれましては、様々な会場でのショーやイベントでのヨロン島のPRと特産品の宣伝を精力的に行っており、これからも観光大使の皆様と一緒に島を盛り上げて行きたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

初のヨロン島訪問で、「ヨロン恋しや」を披露

ヨロンパナウル王国観光大使 千波裕美

私は一般社団法人日本歌手協会会員として15年活動してきましたが、平成24年7月、日本歌手協会レーベル、徳間ジャパンレコードよりオリジナルCD(2曲)とアルバム「北から南へ歌の旅路(15曲)」が発売になりました。北は札幌、函館の風物詩である「ささら電車」(作詞・永井ひろし、作曲・小松美穂)、南は奄美群島・最南端の与論島を唄う「母守唄～ヨロン恋しや」(作詞・東逸平、作曲・合田道人)です。



「ヨロン恋しや」は、若くして島を離れた子供らが数十年を経て島に残してきた置いた母を思い、幼い頃の美しいふるさとを思う、心に沁みる楽曲です。

茨城県銚田市出身の私が与論町の観光大使を拝命したのは、与論島出身の方がこの曲を耳にされたことがきっかけです。その後、地元の方を通じて上野精養軒での新年会「大奄美会」に招待され、東京在住で与論町名誉町民、鹿児島県人会副会長の佐藤持久様のご尽力と応援により、平成25年6月、東京・日比谷公会堂でヨロンパナウル王国国王の山元宗町長よりヨロンパナウル王国観光大使を拝命したのです。

これまで東京で開かれる数々の奄美群島関連のイベント、パーティー、デパートでのイベントなどに顔を出す機会を得、多くの与論島の方々にお会いすることができました。その後、沖縄フェスティバルや日本歌手協会の春夏秋冬の歌謡フェスティバル、各地の歌謡ショーのほか、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等で与論島のご紹介と歌唱を披露する活動をしてきました。

この4年間、幾度も与論島へのお誘いを受けながら台風で取り止めなども重なり、実現できずにいましたが、この10月、「十五夜踊り」の観劇旅行(詳細は7面に)を主催し、やっと念願の与論島に伺うことができました。

十五夜踊りでは、特別に母守歌「ヨロン恋しや」を琉球舞踊と共にご披露した後、ヨロンパナウル王国観光大使としてご挨拶させていただき、「里帰り」ならぬ初訪問で責務の一端を果たすことができました。

与論島の皆様方の絶大なる歓迎と温かいおもてなしに心より感謝申し上げます。

これからもなお一層この名曲を大切に心を込めて歌い続け、ヨロンパナウル王国観光大使として、与論島の発展のため、努力してまいります。

「ヨロンパナウル王国観光大使」のデータ

- 制度の発足：平成12年5月
- 大使の人数：77名(2017年9月現在)
- 大使の主な活動：観光宣伝の普及、特産品のPR、観光物産展等への協力

- 大使に提供しているもの：観光大使の名刺、PR用のポスターやパンフレット
- 制度の所管連絡先：ヨロン島観光協会 TEL 0997-97-5151

夏季会員交流会 (7月28日) に70名超

ふるさと大使理事
三谷啓子

2017年7月28日、今年も恒例の夏季会員交流会が開催されました。

今回の会場もKKRホテル東京にて、70名を超える多くの参加で賑やかに開会しました。

会場入り口に鉄道のプラレールをディスプレイして、線路の上を電車が走る楽しい演出。ローカル鉄道応援酒の地酒試飲コーナーもあり、何やらワクワクの会場設定です。

交流会幹事の本多忠夫副代表の挨拶、そして浅田和幸代表の挨拶に続いて、佐藤健吉氏によるミニ講話「鐵の道～ローカル鉄道応援酒でふるさとを元気に」という、プロジェクトにかける思いをお話いただきました。

今回は初参加者も多く、20名ほどの皆さんがそれぞれ簡単な自己紹介の後、山口義夫顧問の発声で乾杯に移りました。

懇親会で会場が明るい雰囲気になる中、余興は歌手の「みどり〇みき」さん・「池田さなえ」さん・「上野さゆり」さん・「清家みえ子」さん・「千波裕美」さんと続きました。

流石プロのみなさんは盛り上げ上手!! 俳優・横内正さんのマネジャー「詩笛立季」さんが稽古で来られない本人に代わって、舞台出演の紹介もしていただきました。



最後はもちろん、会のイメージソング「ふるさと音頭」の合唱で会場は盛り上がり、鴨川キヨ副代表の中締めでひとまず終了となりました。

差し入れの日本酒やワインも振る舞われ、地酒の試飲もあって会場には夏の暑さとともに熱気が溢れていました。

ふるさとを元気にするという目的を共有する会員のみなさんとの出会いと、新たな絆づくりの輪が広がっていくことを改めて願うところです。

今後とも多くの会員の皆さんの参加と新しい方への声掛けをしていただきますよう、よろしくお願いいたします。



ローカル鉄道応援酒「鐵の道」を紹介



交流会会場の一角で、ふるさとの鉄道と酒造のコラボ商品である日本酒「鐵の道」(てつのみち)の試飲会を行う機会を頂きました。「鐵の道」は、2009年に第1号(いすみ鉄道&木戸泉酒造)がリリースされて以来、これまで全国の11蔵から商品化されていますが、会場には8蔵の「鐵の道」が勢ぞろいしました。交流会の冒頭では、小生から「鐵の道」の発案者として、その趣旨と苦労話、さらに今後は47蔵からの「鐵の道」をリリースしたいのほか、「鐵の道」の姉妹品として、おつまみとして「鐵の娘道」(てつのみち)を新たに商品化することを紹介させて頂きました。

試飲会では、「鐵の娘道」第1号の千葉県いすみ市のチーズ工房KOMAGATAの「ブルーチーズ」と「ジャ

一社) 洗楓座 佐藤建吉

ポニカ」も並べて試食いただきました。

これらの企画は、ふるさとの地域活性化商品として、有効かつ興味深いものであると参加者からは好評との感触を得ましたが、なお一層のご支援をお願い申し上げます。

「鐵の道」の試飲会風景と「鐵の娘道」のチーズ



アンテナショップを訪ねて「三重テラス」

東京都中央区日本橋室町2丁目4-1 ☎03-5542-1033

三重テラスは、ショップ機能だけではなく、食の魅力を提供するレストラン機能、地域の文化交流を行えるイベント空間などを総合的に備えた地域の文化施設となっている。

平成25年9月、三重県とゆかりの深い日本橋にオープンした。江戸時代にはお伊勢参りが盛んで、この日本橋を出発点とし、三重の伊勢神宮までが旅のゴールデンルートとなっていた。三井をはじめ伊勢商人の店が多く並んでいたのもこの日本橋であった。この地に三重の情報を発信し、三重の関係者が交流できる拠点をつくらうとしてできた新しいタイプの拠点である。



ショップ・レストランの運営は民間に業務委託しており、ショップでは地域の伝統工芸品、菓子、酒、旬の食材を含めて1300品が並ぶ大型店となっている。アンテナショップが集積する銀座とは少し離れているが、様々なイベントを開催し

ているので来店客は1日1000人から2000人にも及ぶ。三重の関係者が70%ぐらいを占め、リピート客も多いという。この8月にはオープン以来の来店客数が250万人を突破したのでその感謝祭が行われた。

売れ筋商品としては、有名な松阪牛や伊勢えび商品のほかに、伊勢うどん、伊勢茶、海藻など豊富である。特産品として伊勢型紙の行燈、藍染め、土鍋なども並んでいる。

1階のレストランでは、松阪牛や旬の野菜をたっぷり使った本格的なイタリアンが味わえる。2階には広いイベント空間と観光案内コーナーがある。三重の文化・歴史などのセミナーや講演会等も行われている。この2階イベントスペースでは三重に関係する人々の交流にも力を入れている。例えば、三重県伊賀市に伊賀忍者の里があり、専門家を招いてイベントを開催している。特に、子供や外国人に人気が高い。

このようにふるさとの情報を本格的に発信し、関係者のつながりを広めていく活動は今後のふるさと活性化のモデルともなるものだと考えられる。

常任理事 鈴木克也



世界とふるさとの懸け橋に

水戸大使 沢井小次郎

私は、1988年に秋元康プロデュースの「幕末塾」というアイドルグループの結成メンバーとして、TMネットワークのカバー曲「Come on Let's Dance」で芸能界メジャーデビューしました。現在は、俳優・映画プロデューサーとして、芸能プロダクションのリク・コーポレーションに所属し、映画・TV・イベント等のイベント企画制作会社の代表取締役としても活動しております。

2005年に水戸大使の委嘱を受けてから、お世話になった故郷・水戸に何か恩返しができないか考えるようになりました。町の活性化の一翼を担いたいと思い、「KOJIROの伝説の館」というラジオ番組の制作や、様々なイベントの主催を通し、多彩なゲストの方に水戸にお越し頂くことができました。俳優の榎木孝明さん、歌手の高橋ジョージさん、タレントの彦摩呂さん、山田まりやさん、女優の田中美奈子さん、またハリウッドからはプレストン・スタージェスJr.さんなど、約50人以上の方に故郷の魅力を味わって頂きました。

また、自身の専門分野である文化・芸術・エンターテイメントを通して故郷の活性化を手伝えないかを考える中で、弊社が長年かけて開発してきたハリウッドメジャー映画プロジェクトとのコラボレーションを進めています。映画プロジェクトに関しては、いよいよハリウッドメジャー映画界の重鎮の方と私自身が、何本か手掛ける映画作品の全権利を所有する最高責任者として契約を締結し、いよいよ最終段階の調整に入りました。

プロジェクトが実現した際には、水戸市での撮影やプロモーションを活用し、世界に我が故郷の素晴らしさを伝え、日本の観光産業にも貢献したいと願っております。



先日、同じ水戸大使の同志でグロービス経営大学院学長の堀義人さんとお会いしました。堀さんは、シャッター通りと言われた水戸の商店街を見て「水戸市ど真ん中プロジェクト」を立ち上げ、バスケットボールのBリーグ「茨城ロボッツ」とコラボし、この2年で水戸の中心部に洗練されたバスケットコートやカフェを設立。インパクトある施設に、今や街の人気スポットに変身した姿を目の当たりにして感激しました。皆様も是非、水戸にお越しの際はお立ち寄り下さい。

私自身、ふるさと大使という役目を頂くことで、日々新たな視点を意識させて頂いております。全国ふるさと大使の皆さんに刺激を受けながら更に視野を広げて、ふるさと活性化に貢献できるよう頑張ります！

(所属事務所リクコーポレーション HP= <http://riku-co.jp/>)

最近1年間に創設された主な大使制度

制度開始	都道府県	委嘱団体	大使名
16.10	兵庫	八頭町	八頭町観光大使
17.1	栃木	下野市	輝け下野エール大使
17.1	沖縄	伊江村	伊江村観光親善大使
17.4	島根	知夫村	知夫里島観光大使

制度開始	都道府県	委嘱団体	大使名
17.6	福岡	添田町	そえだまち観光大使
17.7	東京	板橋区	板橋区観光大使
17.10	埼玉	寄居町	寄居町ふるさと大使

(注) 制度開始は創設日または委嘱開始日



「ドリーム夜さ来い」を世界共通語に

高知県観光特使 **扇谷ちさと**

(一般財団法人ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団 理事長)



私は高知出身でかつ、よさこいと深く関わったことから今回お話をさせていただきます。

よさこいを初めて踊ったのは幼少のとき、真夏で踊ったのですがただ暑いという記憶しかありませんでした。

成人後もよさこいチームの代表を長く務めた後、20代後半に東京に上京しました。ダンスインストラクターなどを経てしばらくよさこいから遠ざかりましたが、1990年代末から再び関わりました。

普及活動や祭りプロデュースを手掛ける中で、思い切って祭りを立ち上げようと決意し、「東京から日本の夢を世界に発信」をコンセプトに「ドリーム夜さ来い祭り」を2002年に首都圏のよさこい関係者と共同で創設しました。

場所は祭りの空白地域であり、新しいまちづくりが展開されていたお台場に着目し、組織づくりも手作りでゼロからのスタートでした。

回を重ねるにつれ、東京都・フジテレビも共催に加わり、会場も丸の内・秋葉原にまで広がり、今では観客80万人を超える東京の顔となる新しい祭りとして進化しています。



◆ドリーム夜さ来い祭り in ニューヨークの開催へ

ドリーム夜さ来い祭りの開催地・東京の姉妹都市であること

や、自由の女神を擁しているまち同士であることなどが実現につながる縁と勝手に信じて数年前にNYに初訪問。その中心地の世界の交差点と言われるタイムズスクエアの独特の華やかさに引かれ、ここでやるしかない決断。2013年に世界初の開催に至ったのです。日本人の手によるお祭り開催はクレージーキャッツ以来50年ぶりの開催で地元NYでは奇跡の出来事だったようです。(ちなみに今年5月29日にタイムズスクエアで3回目を開催しました)

◆東京オリンピック・パラリンピックでよさこいを

今年3月下旬に都内で全国のよさこい祭り関係者が集結し、「2020よさこいで応援プロジェクト実行委員会」を結成しました。同日、よさこいを開閉会式などでの採用の応援をしていただく旨で小池東京都知事に表敬訪問。小池都知事には尾崎高知県知事から要望書を手交し、私も同応援プロジェクト実行委員会の理事の1人として各地のよさこい関係者やオリンピックの方々とともに同席しました。

これからさらなる働きかけが必要になりますが、もし実現したら、当祭や全国のよさこいはもちろん、発祥の地・高知よさこい祭りに国内外から多くの方々から訪れるのではないのでしょうか。

そんな、近未来に想いを馳せつつ、当祭を世界中に普及させ、それをきっかけに土佐の風土をもっと知って感じてほしいと願っております。

滋賀県が日本橋にアンテナショップ
「ここ滋賀」
 10月29日開業

滋賀県が10月29日(日)、東京・日本橋にアンテナショップ「ここ滋賀」をオープンする。

東京メトロ「日本橋駅」出口すぐの場所の2階建てビルで、1階は特産品の物販と観光案内のほか、日本酒バーを設置、県内33蔵の地酒を提供する。2階の和食レストラン「滋乃味」では近江牛や鮎ずしに代表される発酵食品、琵琶湖の魚などを軸にした料理を出す。屋上にはテラス席を設け、季節に合わせたイベントを実施する。

日本橋に出店するのは、高島屋、白木屋、西川ふとんなど、近江商人にゆかりの深い場所であることや、周辺に奈良、三重、

島根など各県のアンテナショップが集中し、銀座・有楽町に次ぐ集積ゾーンになっているためだ。

県では、「滋賀の魅力を実際に見て、触れて、食べて感じる」ことができる情報発信拠点」と位置付けている。

店舗は午前10時～午後11時まで営業、レストランはランチタイム(11時半～14時)と夕食(18時～23時)時に営業する。



(完成予想図)

日本の魅力を世界に発信しよう

Jネットふるさと上越大使 佐藤史郎
(跡見学園女子大学名誉教授)

日本への外国人観光客が、政府が予期していた以上に増えてきていることは、おおいに歓迎すべきである。このこと背景には、我々日本人が自覚しているよりはるかに多くの魅力に外国人観光客が感嘆し、魅了されていることが挙げられると思う。概略すると、四季の移り変わりにみられる自然の美しさ、出汁に表わされる日本料理の繊細さや調理法の多様性(煮る、焼く、蒸す、揚げるなど)、さらには接客面で、きめが細かく、誠実で真摯な対応などが挙げられよう。

もちろんこれらの要素の他に、諸外国には見いだせないような文化や芸術(歌舞伎や茶道などなど)が存在することも指摘できよう。いずれにせよ、日本という国がこれらの素晴らしい要素を有していることを日本国民はもっと誇りに思うと同時に、世界に向け強力に発信していくべきではないかと思う。

以上のことを踏まえ、地方へのより一層の外国人観光客の取り込みに対し、大きく三つの戦略を提案したい。外国人観光客をひきつける最も重要な要素はやはりツアーの中身である。一般的に、外国人観光客の初来日の際は、自然の景観に感嘆したり美味しい料理に舌鼓を打つなどの鑑賞型(受け身型)が多い一方、リピーターの観光客は、異文化体験を通して訪れた国をよりよく知ろうとする体験型(能動型)に特徴づけら

れるという。いずれの場合も、特定の地方での成功例を模倣してツアーのプログラムを作るのではなく、地方ごとの個性を生かした独自のものを創りだすことが望ましい。後者のほうが、施行後の修正を行うことが容易となり、その地方の強みを強化することにつながるからである。

次に大切な要素は、外国への発信を最大限に行うことである。外国の観光庁や自治体などへの積極的なアプローチが功を奏することもあるだろう。また、産業見本市などへの出店が即効性を発揮することもあるだろう。近年は工夫次第で一定の効果が見込めるインターネットの利用という手段がある。このような文明の利器を利用しない手はない。インターネットの場合、発信内容の修正や変更が容易なのも利点である。

現在ブランド力の高い企業として認知されているホンダやソニーなどですら、その創世期はベンチャー企業ながらに失敗と成功を繰り返しながら現在の地位を勝ち得ていることに注目する必要がある。外国人観光客の誘致を成功させるには、まさにこの手法が必要不可欠である。つまり、ツアー終了時のアンケート(言語は英語)の結果を分析したうえで、観光プログラムに絶え間ない修正を加えることによってより魅力のあるものに近づけることができるのである。



「大多喜城立ち葵の会」で講演

水戸大使 本多忠夫

8月19日土曜日1時半から大多喜町公民館で地元の「大多喜城立ち葵の会」主催の講演会が開催され、元千葉大学准教授で当会会員の佐藤健吉氏の紹介で講師として招かれた私が約1時間半の講演を行った。

次にその子(私といとこ関係)である長男が、そして次男が継いできたが、2人とも亡くなり後継者もないことから、同じいとこ関係者で本多家を名乗る男子は私しかいなくなったので、かれこれ7~8年ぐらい前から意識的に本多忠勝の末裔である事を名乗りだした。

立ち葵の会は大多喜町にある大多喜城の初代城主であった本多平八郎忠勝を主人公としてNHKの大河ドラマに取りあげててもらいたいとの活動を行っている団体である。町を挙げて活発な活動を行っている。

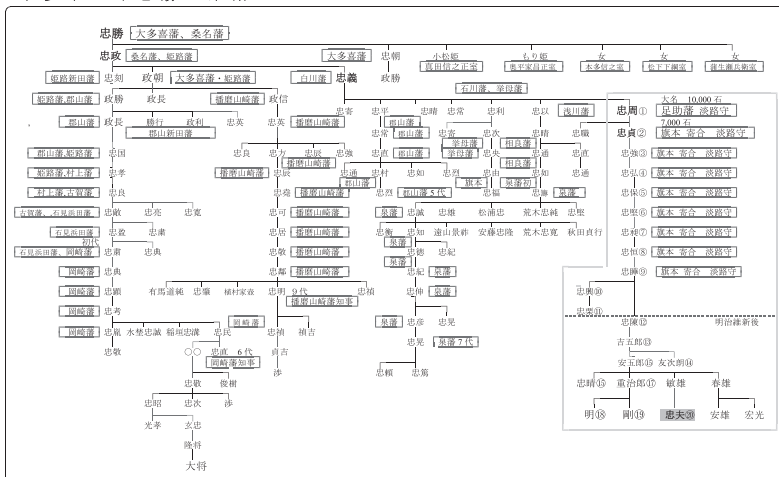
忠勝との関係を示した家系図を作成して現地でお待ちしておりますながら講師を務めさせていただきました。

大河ドラマでは未だ取りあげていない県は千葉県と数県ぐらいと云う。しかし千葉県では、里見八犬伝や伊能忠敬を主人公としたドラマを是非行って欲しいとの運動を行っており三つ巴となっていることである。

立ち葵は本多家の紋である。講師となった私・本多忠夫も平八郎の流れを汲む一族で、紋はやはり代々立ち葵である。私の先祖は忠勝の長男忠政の子(3男)忠義の子忠周(ただちか)が直接の先祖である。忠周は初代足助藩主で1万石の大名であったが、失脚して以降代々7000石の旗本として明治維新まで続いた家である。

本来私たちの代では私の父親の兄が継いでおり、

本多平八郎忠勝の系譜



大歓迎を受けた与論・十五夜踊りツアー

ヨロンパナウル王国観光大使
千波裕美

当会は10月3日～5日の日程で「与論十五夜踊り観劇ツアー」を実施。私を含む13人一行が鹿児島県大島郡与論町を親善訪問してきました。4月にも企画・案内したのですが、台風のため中止、改めての実施となったものです。

早朝6時50分、羽田から沖縄に向かい飛行機の中から与論島が見えた時は大きな歓声が湧きました。沖縄では首里城やおきなわワールド国際通り、鍾乳洞などを見学し、与論島文化のルーツと歴史に触れました。翌朝是那覇港を出発、船上から近づいてくるあこがれの与論島にワクワクする船旅でした。

港に着くと、宿泊先のヨロン楽園荘の送迎バス「人生ゲーム」ワゴン車と大きな横断幕と花束を持って観光協会の町岡事務局長らが迎えてくれました。ワゴン車からは港いっぱいの音量で私の唄「母守唄～ヨロン恋しや～」が鳴り響いており、やっと与論島に來れた喜びで胸がいっぱいになりました。

楽園荘で昼食の後、グラスボートで青色に染まる海や海底のサンゴ礁を見て感激し、亀を発見した時は皆さん大はしゃぎ。百合が浜では満ち潮になると消えてしまうサンゴの島の写真をとったり、星砂を見つけたりして大いに楽しみました。

夕刻には一番の目的である国の重要無形民俗文化財「十五夜踊り」の観劇に。町長の山元宗様をはじめ数十名の名士の方々の列席に加えていただき、鹿児島県人会副会長の佐藤持

久様より1人1人ご紹介いただき、祝宴の輪に参加させていただきました。

伝統の十五夜踊り、1番組、2番組の後、琉球舞踊付きで私の「母守唄～ヨロン恋しや～」をご披露し、観光大使としてのご挨拶もさせていただきました。皆様から大きな拍手をいただいたことは本当にうれしい限りです。

宿に戻ると改めて佐藤持久様をはじめ大勢の方に歓迎の祝宴をしていただきました。

最終日はヨロン城跡等を巡り、サトウキビ畑やハイビスカスの道路を抜けて島の昔の暮らしぶりなどを見学しました。

帰りの際も港で五色のテープで島の皆さんに見送っていただきました。フェリーの中でも島民の方々と酒を酌み交わし、歌って、楽しい時を過ごし那覇に着きました。



与論島親善交流記

常任理事 三浦喜代治 (美郷町ふるさと大使)

ヨロン・パナウル王国観光大使で当会理事の千波裕美さん率いる「与論十五夜踊り観劇ツアー」で与論町を親善訪問してきました。

初日は東京・羽田から空路で沖縄・那覇に行き一泊。翌朝、小型飛行機で行く予定でしたが、定員オーバーで全員が乗れないためフェリーに切り替えて、ちょうど昼前に与論島に到着しました。まず驚いたのが港での歓迎セレモニー。島の皆さんが横断幕で迎えてくれ、一行は大いに感激しました。

与論島の周囲は23.7km、島の人口は5000人。島民の皆さんは明るく情熱的な方々で、嬉しく感動しました。

昼食後、早速、観光案内人に従ってグラスボートで海の遊覧。目指したのは星砂のとれる幻の砂浜「百合が浜」。サンゴ礁の群生地を見せていただき、引き潮になると海の真ん中に突然、砂浜が浮上し、またまた感動。舟から下船して多くの若い観光客と交流して楽しいひと時を過ごしました。

夕暮れ時からは与論城跡・按司根津栄(アジニッチェ)神社に招かれ、与論町長の山元宗氏、町議会議長の福地元一郎氏、町教育委員会委員長の町岡光弘氏をはじめ町の要職にあられる名士の方々と合流しました。ここからが島の皆さんが誇るメイン行事の「与論十五夜踊り」。永禄4年(1561年)、当時の領主が与論城跡にある地主(とこぬし)神社と琴平神社に奉納したとされる古典芸能で、1993年に国指定重要無形民俗文化財に指定されています。10月4日は与論十五夜踊りの日として保存会の手で継承され、ちょうどその日に私たち一行を迎えてくれたわけです。私たちは特設テントの観

覧席で観賞。三味線や太鼓の演奏をバックにした、とても幻想的な踊りでしたが、島の皆さんが無言で観賞されておられる姿にも感動しました。

十五夜踊りを終えて宿に戻ると、島の皆さんの情熱的な宴が始まり、私たちもその輪に招かれました。ここでびっくりしたのが「与論献奉(けんぼう)」と呼ばれる酒の飲み方。お客をもてなすために、接待側が大杯の焼酎を飲み干し、次にお客に飲み干させるというやり方で、お客が酔って寝込んでしまうくらいが心をつくした接待の仕方だそうです。皆さんもしこたま呑んで楽しい一夜を過ごしました。

3日目は、朝から島全体を見渡せる資料館の「サザンクロスセンター」や民俗村など、島内の名所各地を巡り、真っ青な海的美しさや砂浜など本州では見られない素晴らしい自然景観を堪能しました。

今回は私と千波さんの知人が中心のメンバーでしたが、「ふるさと大使」が案内するこうしたツアーを多く開催し、会員以外の方も含め多くの方が参加できれば、地域の良さを発見し、またふるさとを知ってもらう良い機会になると確信しました。

締めにあたり、与論町長はじめ島の皆さんに心より感謝とお礼を申し上げます。

本籍地と 現住所の 取り組みは ゼロサムか？

坂本信雄
(京都学園大学名誉教授)

皆さんのなかには依然として本籍地を自分が出生したところ、多くは故郷にしている方がおられると思う。秋田県鹿角市出身で、今は京都府亀岡市に在住する私自身も、両親がもう他界して今は「蔵」だけが残っている故郷だが、年齢を重ねても故郷は

とりわけ思い出深いところなので敢えて本籍地はそのままにしている。まさに「故郷忘れがたき候」なのだ。

その本籍地・鹿角市もご多聞にもれず人口減少に見舞われており、移住の促進に向けて移住コンシェルジュ役を外から受け入れるなど活発に取り組んでいる。

他方、京都市に隣接する亀岡市も人口減少の危機感は鹿角市ほどではなさそうだが、やはり移住促進の係を配置して対策に力を入れている。行政の基本的な枠組みは人口規模そのものなので、多くの地方自治体が人口減少対策に躍起になる事情は大いに頷くところだ。しかし、

ここでも或る自治体が移住者を確保すれば他方の自治体の人口減少になるというゼロサムの構図が浮かび上がってくる。まさにふるさと納税に似た取り組みが展開されているといえよう(ふるさと納税については今年2月28日付け日本経済新聞朝刊「私見卓見」欄に「ふるさと納税より準市民制度を」と題して寄稿した)。

もっとも「移住者の増加」＝「地域の魅力度アップ」と「ふるさと納税」＝「地域産品の促進」とはまさに軌を一にしていることからすれば、それぞれの施策は理解できなくもない。

しかし、もう少し視点を変えてみれば、多くの自治体の人口減少の実態は出生率の低下と死亡者の増加、そして転入者の減少と転出者の増加であり、前者の自然要因に加えて後者の社会要因が人口減少に拍車をかけている。従って、この本質は出生率の引き上げであり、流出人口を如何に抑えることができるかどうかになってくる。人口減少時代とはいえ、自治体にとって、ゼロサムの発想を乗り越えた取り組みを見出すことができないだろうかと思われてならない。

◆新会員のひと言◆

私のふるさとは舞台(?)

北九州市観光大使 横内 正

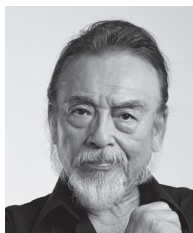
戦後、満州・大連からの引き揚げ船で初めて日本の土を踏んだ私は「ふるさと」と呼べるところを持たぬまま10代を迎えました。

1960年、俳優を志望し上京した私にとっては、住み込みのバイト先・銀座での生活がスタート。それこそ歌詞にある「銀座の柳」のもとで中・高校時代を過ごした北九州・若松に言いようのない郷愁を感じたものです。

この春、北九州市観光大使をお引き受けすることになりました。そして最近「ふるさと大使連絡会議」の活動を紹介され、ご挨拶の一文を書かせていただきました。

「ふるさと起こし」と言えば、まず名産品の紹介、地元の風光明媚な観光スポットの案内等がイメージされます。

一方、私の携わる芸能の世界はまさにイメージの紹介、提供



で、それこそ目に見え、手に触れる「もの」ではありません。それだけに受け取る皆さんの個々の好み、感性、関心の度合いによって評価が違います。長い間テレビを独占していた時代劇も一段落。今ようやくこれまで演じてきた「舞台」に真正面から取り組み、一人でも多くの皆さんに「芝居の世界」を楽しんで貰えないものと願っています。

昨年、今年と続けて日本橋・三越劇場で弊社が企画制作したシェイクスピア「リア王」を上演し、良い評価をいただきました。残念ながら、ふるさと北九州での公演は実現しておりませんが、来年、福岡市で中高校生諸君に見てもらえるよう交渉中で、実現すれば嬉しいんですがね〜。「ふるさと大使」の方や「団体関係者」の方、名産品の紹介・販売と名作上演・演劇鑑賞等のソフトをジョイントさせた冠企業の主催公演や観劇ツアー等を企画していただけたらなあと思っています。

現在、私は76歳。「リア王」を演ずる俳優では、過去・現在を通して恐らく日本最高齢でしょう。数少なくなった高齢俳優の一人として元気にエールを「ふるさとの皆さん」におくるべく、ご支援・ご協力をお願い致します。

水戸黄門・初代格さん

暴れん坊将軍・大岡忠助こと 横内 正

入会にあたりおもうこと

Event Banking・プロデューサー
シマダ シュンタ

初めまして。この度、Event Banking CEO(弊社代表)イトーよりご紹介に与り入会致しました、シマダシュンタと申します。私の「ふるさと」(故郷)は、福岡県



福岡市です。昔から豊かな食文化と伝統がいきづく街で認知され、多くの方々が国内外から出入りし、世界で急成長を遂げているホットな都市であります。仕事上、地方にも足を運ぶことが多くなり、全国各地からご当地グルメなどを集めイベントを行い、イベントを通して全国各地のPRも行っている次第であります。この会への入会を機に自分がこれから先、「ふるさと」(故郷)へどのように貢献できるのか、常に意識して皆様と交流させて頂きたいと考えております。宜しく願い致します。

酒田花火ショーに酔う

酒田ふるさと観光大使 鴨川キヨ

昭和4年創始。空と海 湊が奏でる夏のハーモニー、酒田花火ショーが8月5日、最上川河原後援で打ち上げられました。私が幼少の頃は、ただただ打ち上げるだけを記憶している。次の花火が揚がるまで間があった感じがした。今はナレーション付き、メロディー付きである。そして芸能人の花火コラボレーションあり。

第1部はグランドオープンであった。これから始まる人生という旅路にはどんな出会いや出来事が待っていることでしょうか。今年の酒田花火ショーは「海」がテーマであった。虹色に輝く大輪がオープニングを飾った。

第2部は酒田夏の海。照りつける太陽。立ち上がる入道雲と鳥海山、夕日に照らされる稲穂が輝く庄内平野。酒田の日常の風景と思い出の情景であった。歌は世につれ、世は歌につれ。

第3部はふるさとの夜空に輝く花火と響く歌声。山形市出身の朝倉さやと花火のコラボレーションであった。

第4部は水上花火ショー。人生のクライマックスへと向かいます。水上ミュージカル花火(市民号)、酒田花火ショーの名物、水上スターマインは素晴らしいものであった。

第5部はグランドフィナーレ。酒田花火ショーのフィナーレは神秘的に満ちた生命のエネルギーと大自然のど真ん中に心を揺り動かす感動的な体験。生命の源は海へ、そして明日へ。美しくダイナミックで色鮮やかな花火でした。

私は心に感動の余韻が残っています。

ブレイクタイム。メッセージ花火は昨年より始められ、今年で2年目らしい。私の旧友が1月に亡くなっていたことを知っているかたは少なく、皆さんの協力により追悼花火を上げることができました。

内容は文字は限られていたが、この文面で天国まで届けました。

「誰にもさよならも告げずに天国行きのパスポートを持って旅立った堀田洋子さん、友人たちはびっくりしております。今日は天国まで届くように追悼花火を捧げます」友人一同。

8号玉、2発でした。「引」とも呼ばれ、星が尾を引いて菊のように丸く開く変化菊、八重菊など多くの種類があるそうです。

メッセージ花火は個人協賛でしたが、私が酒田ふるさと観光大使を務めていたせいもあったと自分なりに満足感を味わっています。



第23回 北海道産直フェアを終えて!

初秋の風物詩となった「第29回北海道フェア in 代々木ザ・北海道食道」と「第23回北海道ふるさと会産直フェア」が共催で9月27日～10月1日まで東京代々木公演B地区イベント広場で開催されました。



この産直フェアには、北海道ふるさと会連合会加盟会員89団体の内、24団体が出店されました。

出店ふるさと会は特産品(海産物、農産物、牛乳加工品、肉加工品他)を展示し、同時にふるさとの観光ポイントを知って頂き、少しでもふるさとへの活性化への熱い想いが伝わって来ました。

当会の出店は若輩中の若輩で6回目になったばかりで

す。これからも出店を続けて行きたいと思っています。

初日の天気心配されましたが、何とか方まで持ちこたえてくれました。その後の3日間は好天に恵まれ、大勢のお客様で賑わい特産品を初め、魅力ある観光スポットも知って頂きました。

本フェアにご来場くださった皆様また当会ブースに立ち寄って下さった皆様には心から感謝申し上げます。有難うございました。

正式な入場者数は現時点で発表ありませんが、40万人を超えたのではないかと推測しております。

是非、次は北海道ニセコ町に足を運んで頂き、新鮮な食べ物と観光の魅力(スキー・ラフティング・温泉)を体感して頂ければと思っております。

最後になりましたが、本フェアの開催に当たって多大なご尽力された関係の皆様には心からお礼申し上げます。

(ニセコ町観光大使 東京ニセコ会 穂山貞夫)



桜の植樹を通じてモンゴルに夢を

歌人、Round Table代表 まほろば薫

モンゴルと私との出会いは世界一の馬頭琴奏者であり、日本ホーミー協会の会長であるエルデネ・ボルドーとの出会いに始まる。モンゴルとの親善に資産を投じながら50年かけた柳沢徳次理事長率いる日本モンゴル親善協会の新春祝賀会で去年、彼の演奏を聴いて魅了され、スタンディングして拍手したのがきっかけでした！

彼の音色は壮大なるモンゴル高原に私を誘ってくれたのです。パーティーで彼もそのあと私を見つけてくれて、サントリーホールでの彼のコンサートに誘われたのです。彼と語り、彼の音をいただくと和歌が次々舞い降りてきました。

また時を同じくして銀座4丁目の鳩居堂で個展を開いている私をモンゴルのドクターが私のプロフィールに興味を抱いて、遠くモンゴルから訪ねてくれました。モンゴル映画の女流映画監督も一緒にいらして、私はモンゴル映画のメイン女優としてマザー2に出演することになり、モンゴル高原で出だしの撮影をしたのです。マザー1はロシアの映画祭で主演女優賞を獲得し、ハリウッドで5つの作品賞の1つに選ばれています。

撮影でモンゴルに伺った時に、元首相のゲルに案内されて4人で泊まった時のことです。まるで修学旅行のように満天の星空を眺めながら私たちは子供のように枕を抱えながらはしゃいで、小さかった頃の話まで始めました。

私は3歳の時に可愛がっていた犬のペペがご飯を食べているのに抱きついて噛まれたことがありました。小さい時から欧米の小説を読んでいた私はいつも私にはパパママがいるのに「あしながおじさん」とかに出てくる主人公は孤児院でパパママがいませんでした。ですから気になって何かしたいと幼な心に思っていました。

可愛がっていたペペに一度も噛まれたことがなかったのですがその時は動転してもう死ぬと思ってママに「私の大切なものはすべて孤児院の子供たちに差し上げて」とちっちゃな私は叫びました。

ところがドクターのソラも幼稚園の時に自分だけ新しい靴



テープカット



みんなで植樹

重陽の節句で



女医さんたちと



なのに、みんなは壊れそうな靴や汚れている靴だったので、自分だけピカピカでは他の子供達に良くないと考えて、わざわざ幼稚園に行く前に靴を汚してから行ったと言うのです。

私は海を超えてモンゴルにこそ同じ考えの親友がいることを知って思わず抱き合って喜びました！

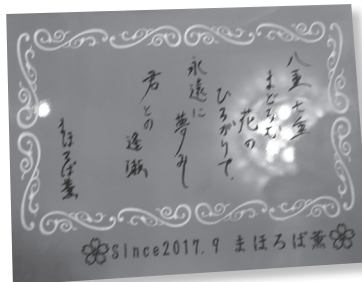
そして私たちは誓い合ったのです。貧しい家に生まれた子供達を無料で診る病院をまずモンゴルから創ることを！

私は今は世界中に桜を植えようとしています。桜を植えて向こうの方々に水をやって育てていただく双方向の桜外交を始めました。地球上を桜でいっぱいにし、桃色にして、一国一国仲良くなって戦争をなくすのです！

今までモンゴルに桜を植えて成功した人は1人もいません。そこで私は今回、寒さに強い陸奥山形の高根沢の啓翁桜をモンゴルに植えました。啓翁桜はクリスマスイブに花開き、お正月中咲くのです。しかも北国では9月に植えるのです。

山形の方々が私に啓翁桜を託してくださったのです。私たちが山形の啓翁桜を海外に植えた最初の人です。お医者様達が毎日水をあげてくれています。今回50本植えました。私が代表を務めるRound Table最初の活動です。

先日、シンガポールのGarden by the bayにも桜を植えてきました！素晴らしいところです！



桃色の大理石の歌碑

全国のふるさと大使制度 (2017年9月末現在=全国ふるさと大使連絡会議調べ)

	市町村長委嘱の制度	諸団体委嘱の制度	
北海道	<p>・北海道観光大使・北海道ふるさと応援大使</p> <p>紋別市：紋別市PR大使 根室市：根室味覚観光大使 旭川市：旭川観光大使 夕張市：夕張観光大使 登別市：登別鬼大使 函館市：はこだて観光大使 士別市：士別ふるさと大使 室蘭市：室蘭ふるさと大使 石狩市：いしかり観光大使 釧路市：釧路市観光大使 名寄市：名寄ふるさと大使 滝川市：・滝川市名誉観光大使 ・滝川市応援大使 ・滝川市ふるさと大使 北斗市：・北斗市観光大使 ・北斗市ふるさと大使 名寄市：・名寄観光大使 ・名寄ふるさと大使 ・名寄まわりまちづくり大使 北見市：きたみ観光大使 札幌市：ビールのまちさっぽろビア大使 石狩市：いしかり観光大使 稚内市：稚内市観光大使 厚真町：厚真町観光大使 浦白町：うらうす・ふるさと夢大使 浜中町：浜中町ふるさと大使 恵山町：えさんマグマ大使 栗山町：栗山町ふるさと大使 江差町：江差町観光大使</p>	<p>新得町：新しく得をする町特命大使 ニセコ町：・ニセコ町温泉大使 ・ニセコ町観光大使 奥尻町：奥尻島観光大使 佐呂間町：サロマ大使 松前町：松前町観光大使 東川町：東川町観光大使 礼文町：礼文町観光大使 新ひだか町：新ひだか町観光親善大使 足寄町：足寄町ふるさと大使 豊浦町：豊浦ふるさと大使 剣淵町：剣淵町ふるさと大使 八雲町：八雲町観光大使 むかわ町：むかわ町ふるさと大使 上川町：上川町ふるさと大使 木古内町：木古内町観光大使 洞爺湖町：とうや湖観光大使 秩父別町：秩父別町ふるさと大使 寿都町：寿都町ふるさと大使 別海町：別海町観光大使 余市町：余市観光応援大使 沼田町：沼田町ふるさと大使 七飯町：大沼観光大使 今別町：今別町ふるさと大使 美深町：美深町観光大使 月形町：月形町観光大使 幌加内町：幌加内そばの里大使 増毛町：増毛やん衆観光大使など 札幌市手稲区：手稲区親善大使</p>	<p>釧路商工会議所：釧路ファイブ大使 帯広市観光コンベンション協会：帯広市観光大使 十勝総合振興局・十勝観光連盟：とちか観光大使 新冠町観光協会：にいかつぶ観光大使 苫小牧観光協会：とまこまい観光大使 札幌商工会議所・札幌観光協会：札幌観光大使 江差観光コンベンション協会：江差観光ふるさと大使 ふらの観光協会：ふらの観光大使 小樽市観光協議会：小樽ふれあい観光大使 浦河観光協会：うらかわ観光大使 ジンギスカン食普及拡大促進協議会：ジンギスカン大使 利尻島観光協会：利尻島観光大使 真狩村観光協会：真狩村観光協会大使 オホーツク観光連盟：オホーツク観光大使 稚内観光協会：・稚内市ふるさと大使 ・稚内市観光大使 富良野地区広域市町村振興協議会：ふらのふるさと大使 上富良野観光協会：かみふらの観光大使 層雲峡温泉観光協会：層雲峡温泉観光大使 札幌商工会議所：札幌観光大使</p>
青森県	<p>・元気あおもり応援隊 ・青森県文化観光大使</p> <p>弘前市：岩木山ふるさと大使 黒石市：津軽 黒石市観光大使 八戸市：八戸特派大使 青森市：青森市観光大使 十和田市：十和田奥入瀬観光大使 三沢市：三沢市観光大使 藤崎町：ふじりんごふるさと応援大使</p>	<p>深浦町：のぼる夕陽のふかうら大使 おいらせ町：おいらせ町ふるさと大使 田子町：田子町ふるさと大使 鯉ヶ沢町：鯉ヶ沢町ふるさと大使 大間町：大間町観光大使 西目屋村：好きです西目屋ふるさと親善大使</p>	<p>よこはまホテル村：ホテル大使 青森ねぶた実行委員会：青森ねぶた観光大使 八戸前沖さばブランド推進協議会：八戸前沖さば大使 八戸観光コンベンション協会：八戸ふるさと大使 弘前商工会議所：弘前まちそでて大使 青森県はたて流通振興協会：青森はたて大使</p>
岩手県	<p>・希望郷いわて文化大使 ・いわて親善大使</p> <p>盛岡市：みちのく盛岡ふるさと大使 大船渡市：・さんりく・大船渡ふるさと大使 ・おおふなと復興応援特別大使 陸前高田市：陸前高田ふるさと大使 北上市：北上しらゆり大使 遠野市：民話のふるさと遠野大使 釜石市：釜石応援ふるさと大使 久慈市：北三陸久慈市ふるさと大使 花巻市：花巻イーハトーブ大使</p>	<p>奥州市：奥州大使・奥州名誉大使 滝沢市：チャグチャグ馬コ、滝沢ふるさと大使 八幡平市：八幡平市ふるさと大使 雫石町：雫石町観光大使 平泉町：平泉観光大使 金ケ崎町：金ケ崎ふるさと大使 岩手町：岩手町ふるさと大使 山田町：山田町ふるさと大使 洋野町：洋野町ふるさと大使</p>	
宮城県	<p>・みやぎ絆大使</p> <p>気仙沼市：リアスさんりく気仙沼大使 大崎市：おおさき宝大使 塩竈市：しおがま文化大使 白石市：白石市観光大使 仙台市：仙台観光アンバサダー 大崎市：おおさき宝大使 伊達市：伊達ふるさと大使</p>	<p>東松島市：東松島復興ふるさと大使 大和町：大和町・まほろば大使 村田町：村田町夢大使 南三陸町：南三陸夢大使 亘理町：伊達なわたり旅～観光親善大使 松島町：松島町観光親善大使 加美町：加美町観光大使</p>	<p>宮城県宮城米マーケティング推進機構：食材王国みやぎ大使 石巻市観光協会：石巻観光大使</p>
秋田県	<p>・あきたベジフル大使 ・あきた美の国大使 ・秋田の応援団</p> <p>湯沢市：湯沢市ふるさと応援大使 にかほ市：にかほ市ふるさと宣伝大使 由利本荘市：由利本荘市ふるさと応援大使 横手市：横手市観光親善大使 大館市：大館市観光大使 秋田市：秋田市観光クチコミ大使 能代市：能代PR大使</p>	<p>潟上市：潟上市ふるさと観光大使 仙北市：仙北市観光大使 小坂町：小坂町観光大使 美郷町：美郷町ふるさと観光大使 三種町：三種町ふるさとPR大使 羽後町：羽後町観光宣伝大使</p>	<p>角館町観光協会：角館ふるさと観光大使 男鹿市観光協会：男鹿市観光大使</p>
山形県	<p>・「食の都庄内」親善大使 ・やまがた特命・つや姫観光大使</p> <p>新庄市：新庄藩江戸家老 酒田市：・酒田北前大使 ・酒田ふるさと観光大使 米沢市：おしょうしな観光大使 東根市：さくらんぼ親善大使 天童市：・天童市ふるさと大使 ・天童観光大使 尾花沢市：尾花沢市ふるさと大使 長井市：ふるさと長井しあわせ応援大使 鶴岡市：鶴岡ふるさと観光大使</p>	<p>上市市：上市市特命観光大使 西川町：月山ふるさと大使 白鷹町：白鷹町ふるさと交流大使 高島町：まほろば観光大使 遊佐町：・ゆざ親善大使 ・遊佐ビジネス大使 小国町：・小国町白い森観光大使 ・小国町白い森ふるさと大使 真室川町：まむろがわ大使</p>	<p>酒田商工会議所：酒田ビジネス大使 寒河江市観光キャンペーン推進協議会：さくらんぼ観光大使 おいしい山形推進機構：おいしい山形大使</p>
福島県	<p>・しゃくなげ大使 ・あったかふくしま観光交流大使</p> <p>いわき市：・サンシャイン大使</p>	<p>下郷町：下郷ふるさと大使</p>	<p>浪江町観光協会：浪江町観光親善大使</p>

市町村長委嘱の制度		諸団体委嘱の制度
・いわき応援大使 会津若松市：会津大使 郡山市：フロンティア大使 喜多方市：きたかた応援大使 ・喜多方市ふるさと特別大使 南相馬市：南相馬市ふるさと大使 白河市：しらかわ大使 福島市：福島市もりん大使 伊達市：伊達なふるさと大使		只見町：只見町広報員 川俣町：川俣町ふるさと大使 矢祭町：矢祭町観光大使 小野町：小野町観光大使 北塩原村：裏磐梯観光大使 昭和村：“やさい王国” 昭和村ふるさと大使 川内村：かわうちふるさと応援大使 湯川村：湯川村文化親善大使 飯館村：飯館村までい大使
茨城県	・いばらき大使 水戸市：水戸大使 鹿嶋市：かしま大使 潮来市：水郷いたこ大使 古河市：古河大使 つくば市：つくば大使 常陸太田市：常陸太田大使 常陸大宮市：常陸大宮大使 龍ヶ崎市：龍ヶ崎市ふるさと大使 那珂市：那珂ふるさと大使 稲敷市：稲敷ふるさと大使 筑西市：筑西ふるさと大使	常総市：常総ふるさと大使 行方市：なめがた大使 下妻市：下妻市観光大使 石岡市：石岡市ふるさと大使 かすみがうら市：かすみがうらふるさと大使 笠間市：笠間特別観光大使 ・かさま応援大使 ・笠間サポーターズ 大洗町：大洗大使 茨城町：茨城町ふるさと大使
栃木県	・とちぎ未来大使 宇都宮市：宇都宮市口コミ特派員 小山市：小山評定ふるさと大使 大田原市：大田原市ふるさと大使 ・大田原市国際親善大使 矢板市：つつじの郷・矢板ふるさと大使 鹿沼市：かぬまふるさと大使 足利市：あしかが輝き大使 下野市：輝け下野エール大使	佐野市：佐野ふるさと特使 栃木市：栃木市ふるさと大使 茂木町：もてぎふるさと応援大使 壬生町：壬生・ふるさと夢大使 ・かんびょう大使 野木町：野木町観光大使 那珂川町：那珂川町ふるさと大使
群馬県	・ぐんま観光特使 ・群馬国際観光特使 ・ぐんま大使 桐生市：桐生ふるさと大使 ・桐生PR大使 ・桐生市観光大使 藤岡市：藤岡観光大使 富岡市：富岡市ふるさと大使 渋川市：日本のまんなかしぶかわ観光大使 玉村町：玉村ふるさと大使	甘楽町：かんらふるさと大使 川場村：川場村観光特使 片品村：尾瀬の郷親善大使 嬭恋村：嬭恋村観光大使 中之条町：中之条町観光大使 ・中之条町アドバイザー (3種) 昭和村：昭和村ふるさと大使
埼玉県	・埼玉応援団 (コパトン倶楽部) ・埼玉県特命観光大使 八潮市：生涯学習やしお大使 秩父市：秩父観光大使 所沢市：所沢大使 ・所沢観光大使 坂戸市：さかと親善大使 行田市：行田観光大使 新座市：新座市観光親善大使 熊谷市：熊谷市親善大使 さいたま市：さいたま観光大使 春日部市：かすかべ親善大使 蕨市：蕨市PR大使 加須市：加須市観光大使 久喜市：久喜市くき親善大使 鴻巣市：鴻巣市観光大使 深谷市：深谷市親善大使	草加市：草加市観光大使 ・草加文化大使 川越市：小江戸川越大使 ・小江戸川越観光親善大使 ・小江戸川越観光グルメ大使 杉戸町：杉戸町宣伝大使 松伏町：まつぶし夢大使 みなの町：みなの観光大使 三芳町：三芳町広報大使 長瀨町：長瀨町観光大使 小鹿野町：小鹿野町観光大使 ・小鹿野町広報大使 寄居町：寄居町ふるさと大使 東秩父村：東秩父村ふるさと大使
千葉県	・千葉県環境大使 ・チーバくん大使 松戸市：まつど観光大使 館山市：館山ふるさと大使 木更津市：木更津市応援団大使 ・木更津友好大使 ・木更津市観光大使 鴨川市：鴨川ふるさと大使 成田市：成田市農業大使 銚子市：銚子ふるさと大使 匝瑳市：匝瑳市観光大使 茂原市：茂原市観光大使	富津市：富津市観光大使 南房総市：南房総市観光大使 旭市：旭市観光大使 館山市：館山ふるさと特使 ・館山ふるさと大使 白井市：しろいふるさと大使 長柄町：ながらグリーンツーリズム親善大使 御宿町：御宿町観光大使 東庄町：東庄町観光大使 酒々井町：酒々井ふるさと大使
東京都	北区：北区アンバサダー 台東区：たいとう観光大使 品川区：品川区観光大使 大田区：大田区観光大使(来～る大田区大使) 荒川区：荒川区観光大使 中野区：中野区観光大使 板橋区：板橋区観光大使	府中市：武蔵国 府中大使 狛江市：狛江市観光大使 東村山市：東村山しあわせ大使 大島町：御神火大使 小笠原村：小笠原村観光親善大使 檜原村：檜原村観光大使
神奈川県	・かながわ観光親善大使 ・神奈川環境大使 (もったいない大使) 小田原市：小田原・城下町大使 ・小田原評定衆 藤沢市：ふじさわ観光親善大使 鎌倉市：国際観光親善大使	平塚市：ひらつか観光大使 厚木市：あつぎ大使 ・あつぎ特別大使 松田町：松田町ふるさと大使
新潟県	・新潟県元氣大使 ・にいがた婚活応援大使 魚沼市：魚沼特使	十日町市：十日町市観光大使

市町村長委嘱の制度		諸団体委嘱の制度
新潟市：・新潟市観光大使 ・新潟市SWC健幸大使 新発田市：しばた観光親善大使 佐渡市：佐渡ふるさと大使 長岡市：越後長岡応援団 糸魚川市：糸魚川ジオパーク大使	柏崎市：かしわざき大使 湯沢市：湯沢市ふるさと応援大使 湯沢町：湯沢町特別観光大使 出雲崎町：いずもごき観光大使	越後妻有郷観光協議会：越後妻有郷観光大使 糸魚川商工会議所：奴奈川市民 ふるさと上越ネットワーク：ふるさと越後大使 J A新潟：新潟米親善大使 新潟市サポーターズ倶楽部：新潟市サポーター 村上市地産池沼推進協議会：村上うんめもん大使
富山県 ・とやま大使 ・とやまふるさと使節 ・とやま名誉友好大使 氷見市：氷見市きとさと魚大使 射水市：射水市観光大使 南砺市：南砺観光大使 魚津市：魚津蟹気楼大使	高岡市：・高岡市国際親善大使 ・高岡観光親善大使 小矢部市：おやべグルメ大使	富山経済同友会：立山大使
石川県 ・石川県観光大使 ・ふるさと石川の医療大使 ・いしかわ観光特使 七尾市：七尾ふるさと大使 能美市：・能美市観光名誉大使 ・能美市観光大使 輪島市：輪島観光大使	珠洲市：珠洲市観光大使 能登町：能登町ふるさと大使	珠洲市商工会議所：珠洲ふるさと観光大使 J A全農石川県本部：石川県産米親善大使 山代温泉観光協会：山代温泉観光親善大使 能登町「花の力」プロジェクト実行委員会：キリシマツツジ親善大使 鶴木商工会：鶴来・ふるさと大使
福井県 ・福井ふるさと大使 ・ふくいブランド大使 敦賀市：・つるが大使 ・敦賀観光特任大使 鯖江市：鯖江ブランド大使 小浜市：若狭おばま御食国大使 勝山市：・かつやま大使 ・勝山観光特任大使	越前市：越前市ふるさと大使 大野市：越前おおのブランド大使 美浜町：美浜町ハートフル大使 永平寺町：永平寺ふるさと大使 若狭町：・若狭町ふるさと大使 ・若狭町ふるさとサポーター	
山梨県 ・富士の国やまなし観光大使 ・やまなし大使 韭崎市：・にらさきふるさと大使 ・にらさき親善大使 笛吹市：笛吹市ふるさと大使	甲府市：甲府大使 富士河口湖町：富士河口湖町観光大使 市川三郷町：市川三郷町観光大使	
長野県 ・おいしい信州ふード大使 ・長野県森林大使 ・長野県インクルージョン大使 ・長野県観光大使 伊那市：・伊那市ふるさと大使 ・伊那市特命大使 飯田市：・信州飯田ふるさと大使 ・飯田市産業親善大使 大町市：信濃大町観光大使 上田市：信州上田観光大使 飯山市：・飯山応援団菜の花大使 ・飯山市観光大使 小諸市：小諸市環境大使 東御市：東御市観光大使 松本市：松本観光大使 千曲市：千曲市観光大使 茅野市：茅野市縄文ふるさと大使 佐久市：「まほろば佐久」ふるさと観光大使 安曇野市：安曇野市ふるさと観光大使 中野市：・中野市音楽親善大使 ・伊那市特命大使 山ノ内町：山ノ内町観光大使	箕輪町：箕輪町ふるさと大使 飯島町：飯島町ふるさと大使 辰野町：たつのふるさとパートナー 小海町：笑顔大使・読書大使 長和町：・黒曜石のふるさと親善大使 ・長和町ふるさと観光大使 坂城町：さかきふるさとサポーター 木曾町：・木曾町サポーター ・木曾町すんき大使 山ノ内町：山ノ内町観光大使 松川町：松川町ふるさと大使 宮田村：宮田村ふるさと大使 南箕輪村：南箕輪村ふるさと大使 川上村：川上村親善大使 豊丘村：豊丘村ふるさと大使 阿智村：信州阿智村ふるさと大使 木祖村：きそむらふるさと大使	商工会婦人部連合会：ふるさと女性大使 志賀高原観光協会：志賀高原観光大使 小諸市観光協会：小諸観光大使 白馬商工会：白馬小径観光大使 木曾観光連盟：木曾観光大使 千代地区まちづくり委員会：千代ふるさと大使
岐阜県 ・飛騨・美濃観光大使 ・ぎふ国際協力大使 ・岐阜ふるさとくらしの大使 多治見市：多治見市特派員 本巣市：本巣市文化観光大使 郡上市：郡上市夢親善大使 中津市：中津市観光大使 土岐市：土岐市観光大使 恵那市：佐藤一斎 言志四録 普及特命大使	岐阜市：・長良川鶴岡大使 ・ぎふ信長大使 大垣市：大垣市交流大使 関ヶ原市：関ヶ原観光大使 白川村：白川村観光ふるさと大使	下呂温泉観光協会：下呂温泉ふるさと観光大使 J A全農岐阜：飛騨牛・荒城郷まほろば文化村P R大使 恵那市観光協会：恵那観光大使
静岡県 ・ふじのくに静岡特使 ・ふじのくに親善大使 沼津市：擦捺ぬまづ大使 磐田市：磐田市ふるさと文化大使 三島市：・三島せせらぎ大使 ・三島市障がい者応援大使 ・三島市観光P R大使 下田市：・下田市観光大使 ・下田市親善大使 御殿場市：御殿場観光親善大使 小田原市：・小田原評定衆 ・小田原ふるさと大使 静岡市：・静岡市観光親善大使 ・静岡市ふるさと観光大使	浜松市：・浜松市やらまいか大使 ・浜松市天竜ふるさと大使 ・浜松市春野ふるさと大使 島田市：島田市ふるさと大使 富士市：富士市観光親善大使 掛川市：掛川市ふるさと親善大使 牧之原市：静岡まきのほら大使 西伊豆町：西伊豆町観光大使 東伊豆町：東伊豆町観光大使 清水町：清水町ふるさと大使 湯河原町：湯河原町観光大使 三島村：みしま大使	焼津商工会議所：焼津まちづくり親善大使 大須賀町商工会：江戸詰御意見番 森町産業祭実行委員会：遠州森町観光大使 小山町観光協会：小山町観光協会大使 館山寺温泉観光協会：浜名湖観光大使 焼津まちづくり推進委員会：焼津まちづくり親善大使 御前崎市観光協会：御前崎観光親善大使 大井川観光連絡会：奥大井観光大使 袋井市観光協会：袋井ほっと観光大使 菊川市観光協会：菊川市ふるさと大使
愛知県 ・愛知ふるさと大使 ・LOVEあいちサポーターズ 豊橋市：・豊橋ふるさと大使 ・豊橋特別ふるさと大使 西尾市：西尾市ふるさと大使 江南市：江南市歴史観光大使 東海市：東海市ふるさと大使 田原市：田原市ふるさと大使 蒲郡市：蒲郡市観光大使 ・みえの国観光大使	犬山市：・犬山観光特使 ・犬山観光交流大使 常滑市：・常滑市親善大使 ・常滑市政60周年PR大使 桑名市：桑名はまぐり大使 知多市：知多市ふるさと観光大使 美浜町：美浜町ふるさと大使	美浜町観光協会：美浜町観光大使 犬山市観光協会：犬山市観光交流大使 半田商工会議所：・半田ふるさとサポーター ・半田観光特命大使 西尾市観光協会：西尾市観光大使 愛西市観光協会：愛西市観光大使 奥三河観光協議会：奥三河ふるさと観光大使
三重県 津市：津ふるさと元気大使 鈴鹿市：鈴鹿シティセールス特命大使 四日市市：四日市市観光大使	伊賀市：伊賀市観光大使 熊野市：熊野市観光大使 いなべ市：いなべ親善大使	伊勢市観光協会：・伊勢市観光大使 ・伊勢市観光御師 南伊勢町観光協会：南伊勢町観光大使

	市町村長委嘱の制度		諸団体委嘱の制度
	鳥羽市：鳥羽市海の環境大使	松坂市：松坂市ブランド大使	
滋賀県	・滋賀ふるさと観光大使		近江八幡観光物産協会：近江八幡観光大使 滋賀県警察本部：滋賀県交通安全ふるさと大使
	彦根市：彦根市観光大使 米原市：まいばらふるさと大使 守山市：もーりー守山ふるさと大使	高島市：高島市観光大使 安土町：安土城観光大使	
京都府	・京都府名誉友好大使		丹後広域キャンペーン協議会：私のふるさと丹後観光大使 京のふるさと産品協会：京野菜特命宣伝大使
	長岡京市：長岡京観光大使 亀岡市：亀岡観光大使 福知山市：福知山ドッコイセ大使 京丹後市：京丹後ふるさと応援大使 敦賀市：敦賀観光特任大使	京都市：・京都国際観光大使 ・京都市おもてなし大使 ・京都名誉観光大使 伊根町：伊根町ふるさとPR大使	
大阪府	岸和田市：岸和田観光大使	寝屋川市：寝屋川市ふるさと大使	
	大阪市：大阪観光大使 豊中市：高校野球発祥の地・豊中親善大使 東大阪市：・東大阪市モノづくり親善大使 ・東大阪市観光大使 貝塚市：貝塚市観光大使 松原市：松原市観光親善大使 箕面市：箕面市特命大使 和泉市：・いずみの国和泉市観光大使 ・いずみの国和泉市PR大使 ・いずみの国和泉市ふるさと大使	泉佐野市：泉佐野市観光大使 四條畷市：四條畷市観光大使 吹田市：ええとこ吹田PR大使 堺市：・堺名誉大使 ・堺親善大使 泉南市：泉南市観光大使 門真市：門真市子育て支援親善大使 熊取町：熊取町にぎわい観光大使 大阪市浪速区：728(なにわ)大使	
兵庫県	・ひょうご観光大使		神戸市観光・ホテル旅館協会：KOBEL観光特使 加古川市観光協会：加古川観光大使 高砂観光協会：高砂観光大使
	川西市：源氏のふるさと大使 神戸市：神戸大使 姫路市：ひめじ観光大使 赤穂市：赤穂観光大使 福知山市：ドッコイセ大使 三木市：ふるさと三木応援大使 加西市：ふるさと大使加西観光大使 伊丹市：伊丹大使 養父市：養父市観光大使	明石市：・明石ふるさと大使 ・明石こども大使 ・明石こども大使 篠山市：丹波篠山ふるさと大使 たつの市：たつのふるさと親善大使 宍粟市：宍粟観光大使 香美町：香美町観光大使 猪名川町：猪名川町親善大使「い〜な〜夢大使」 新温泉町：新温泉町観光大使	
奈良県	・奈良まほろば大使		
	奈良市：・奈良市観光大使 ・奈良市観光特別大使 大和郡山市：やまごおりやま観光PR大使 橿原市：橿原市観光大使	五條市：五條市観光大使 斑鳩町：斑鳩町観光大使 川上村：かわかみ山幸彦大使 十津川村：十津川郷観光大使	
和歌山県	・和歌山ふるさと大使 ・和歌山県観光大使 ・わかやまバンド大使		和歌山県観光連盟：わかやま応援団 和歌山市観光協会：和歌山市観光発信人 那智勝浦町観光協会：那智勝浦町観光大使 すさみケンケンかつおブランド化委員会：すさみケンケン大使
	和歌山市：和歌山市観光大使 有田市：有田みかん大使 有田川町：有田川町観光大使 太地町：太地町観光大使	九度山町：九度山町文化・観光大使 みなべ町：みなべ町ふるさと大使 かつらぎ町：かつらぎ町観光大使 白浜町：白浜観光大使	
鳥取県	・とっとりふるさと大使 ・鳥取砂丘観光大使		境港商工会議所：フィッシュ(FISH)大使 米子市観光協会：米子市首都圏観光大使(よなご大使) 皆生温泉旅館組合：皆生温泉湯けむり大使 八頭町観光協会：八頭町観光大使
	鳥取市：鳥取市観光大使 倉吉市：倉吉市観光大使 湯梨浜町：湯梨浜観光大使	・とっとり健康づくり大使 若桜町：若桜町ふるさと観光大使 北栄町：北栄町ふるさと大使 江府町：江府町ふるさと大使	
島根県	・道島大使 ・しまねSuper大使		
	松江市：・松江観光大使 ・松江文化夢大使 浜田市：はまだ虹の大使 出雲市：出雲観光大使 大田市：石見の国おだ観光大使	桜江町：桜江ふるさと大使 斐川町：斐川ふるさと大使(3種類) 隠岐町：隠岐国観光大使 海士町：海士町観光大使 知夫村：知夫里島観光大使	
岡山県	・おかやま晴れの国大使 ・岡山国際協力大使 ・おかやま国際観光親善大使		岡山名物さわら料理を愛する会：岡山さわら大使 岡山観光連盟：おかやま観光特使 倉敷観光コンベンションビューロー：倉敷ふるさと大使
	玉野市：玉野ふるさと大使 新見市：にいみピオーネ大使 倉敷市：・くらしき観光大使 ・倉敷ふるさと大使 高梁市：備中たかはし伝えたいし	津山市：津山市観光大使 浅口市：あさくち夢大使 井原市：井原ふるさと大使 真庭市：真庭観光大使 哲多町：哲多ふるさと大使	
広島県	・ひろしま観光大使		呉市豊町観光協会：豊町観光大使 三原市ふるさと情報発信協議会：三原市ふるさと大使 宮島町観光協会：宮島観光大使
	広島市：広島市特任大使 尾道市：尾道観光大使 呉市：KURE CITY AMBASSADOR ・くれ観光特使	福山市：福山市観光大使 庄原市：庄原市ふるさと大使 府中市：府中市ふるさと大使 神石高原町：神石高原町観光大使	
山口県	・グローバル山口親善大使 ・山口ふるさと大使		山口県酒造組合・山口県酒造協働組合：山口県地酒大使 関門海峡観光推進協議会：巖流島観光大使
	下関市：しものせき海響大使 岩国市：岩国市観光大使 長門市：・長門ふるさと大使 ・みすゞふるさと大使 美祿市：美祿市ふるさと交流大使 山口市：山口市観光アンバサダー(大使) 周南市：・周南ふるさと大使 ・周南志民	萩市：・萩市観光大使 ・萩ふるさと大使 宇部市：宇部ふるさと大使 柳井市：柳井市ふるさと観光大使 光市：虹ヶ浜盛り上げ大使 下松市：下松ふるさと大使 津和野町：津和野町観光親善大使 田布施町：田布施町ふるさと応援大使	
徳島県	・新鮮なっ!とくしま大使 ・阿波とくしま観光大使 ・徳島国際観光大使		全国徳島県人会連合会：徳島交流大使 にし阿波圏観光協議会：にし阿波観光大使
	徳島市：・徳島ふるさと大使 ・徳島市観光大使 美馬市：美馬市観光大使 三好市：三好市観光大使	鳴門市：・鳴門観光大使 ・鳴門市阿波おどりPR大使 阿南町：阿南ふるさと大使 牟岐町：牟岐町ふるさと大使	
香川県	・香川かがやき大使		詫間町観光協会：詫間町観光大使
	高松市：高松市観光大使	丸亀市：丸亀市文化観光大使	

	市町村長委嘱の制度		諸団体委嘱の制度
	さぬき市：さぬき市ふるさと大使 観音寺市：観音寺市ふるさと応援大使 三豊市：三豊ふるさと大使 東かがわ市：東かがわ市ふるさと大使	小豆島町：オリーブ大使 まんのう町：まんのう町ふるさと観光大使 直島町：直島町観光大使 土庄町：小豆島とのしょう町ふるさと応援大使	琴平町観光協会：琴平町観光大使
愛媛県	・伊予観光大使 ・えひめ海外協力大使 ・愛媛国体ひめっこスポーツ大使		
	四国中央市：四国中央市ふるさとアドバイザー 松山市：・松山市スポーツかがやき大使 ・俳都松山大使 ・松山うたこころ大使 新居浜市：新居浜ふるさと観光大使 西予市：西予市観光大使	宇和島市：・宇和島市観光親善大使 ・伊達な宇和島観光大使 ・パール大使 大洲市：大洲市きらめき大使 八幡浜市：やわたはま応援隊 鬼北町：鬼北町食の大使	松山青年会議所：坊ちゃん大使
高知県	・高知県観光特使		
	宿毛市：宿毛大使 土佐清水市：足摺岬観光親善大使	室戸市：室戸市観光大使 馬路村：馬路村観光大使	四万十財団：四万十大使 まんさい実行委員会：まんさい親善大使
福岡県	・アジア若者文化大使		
	大牟田市：大牟田大使 久留米市：・くるめふるさと大使 ・久留米ふるさと特別大使 大川市：大川市ふるさと大使 糸島市：糸島ふるさと大使 柳川市：柳川観光大使 古賀市：古賀市ふるさと大使 飯塚市：いづか観光大使 筑紫野市：筑紫野市ふるさと親善大使 八女市：八女市茶のくに親善大使 みやま市：みやま市ふるさと観光大使	北九州市：・北九州市観光大使 ・ひまわり大使 ・特命大使(文化・スポーツ・観光・環境) 田川市：田川観光文化大使 うきは市：うきはふるさと大使 篠栗町：篠栗町ふるさと観光大使 福智町：福智町観光大使 みやこ町：みやこ町観光大使 添田町：そえだまち観光大使 東峰村：東峰村ふるさと観光大使	門司港レトロ倶楽部：門司港レトロ大使 久留米観光コンベンション国際交流協会：久留米観光大使 築上町観光協会：「豊」の国美食親善大使
佐賀県	・吉野ヶ里大使 ・吉野ヶ里国際親善大使 ・佐賀県知事 特別広報官		
	佐賀市：佐賀はがくれ大使 唐津市：唐津大使 伊万里市：・伊万里文化大使 ・伊万里市観光大使 武雄市：武雄ふるさと大使 小城市：小城市親善大使	多久市：・多久市ふるさと大使 ・多久市観光大使 嬉野市：嬉野市観光大使 鳥栖市：鳥栖市観光大使 有田町：佐賀・有田ふるさと大使 基山町：基山町ふるさと大使	小城観光協会：小城観光協会大使
長崎県	・長崎奉行 ・長崎県ブランド大使		
	壱岐市：壱岐市観光大使 長崎市：長崎ふるさと大使 佐世保市：佐世保観光ふるさと大使 松浦市：松浦市観光大使	雲仙市：雲仙ふるさと大使 五島市：五島市ふるさと大使 小値賀町：おちか観光まちづくり大使	長崎商工会議所：長崎親善大使 対馬商工会青年部：対馬観光宣伝大使
熊本県	・くまもと誘友大使 ・熊本国際観光大使		
	天草市：天草市観光特使 熊本市：わくわく親善大使 菊池市：菊池市観光大使 八代市：八代よかこと大使 荒尾市：あらお観光大使	山鹿市：ふるさとやまが大使 人吉市：まちづくり親善大使 上天草市：・上天草市観光親善大使 ・上天草市ふるさと観光大使 合志市：合志市ふるさと大使	球磨焼酎酒造組合：球磨焼酎大使
大分県	佐伯市：佐伯市観光大使 別府市：・別府ONSENツーリズム大使 ・観光温泉文化大使 国東市：くにさき観光親善大使 中津市：・中津市特命観光大使 ・中津市観光大使 津久見市：津久見市観光大使	宇佐市：・宇佐市観光大使 ・宇佐市ふるさと応援大使 大分市：・大分市観光大使 ・大分市観光特使 ・大分市スポーツ大使 日田市：水郷ひた観光親善大使 日出町：日出町ふるさと親善大使	豊の国かぼす大使会：豊の国かぼす特命大使 中津耶馬溪観光協会本耶馬溪支部：本耶馬溪観光大使 おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会：特任大使
宮崎県	・みやざき大使 ・宮崎応援隊		
	西都市：さいとふるさと大使 延岡市：のべおか観光大使 日向市：・日向市ふるさと大使 ・日向市観光大使 ・日向のへべす大使 都城市：みやこんじょ大使	えびの市：えびの市親善大使 菊池市：菊池観光大使 高原町：たかはるふるさと大使 高千穂町：高千穂ふるさと大使 三股町：みまたふるさと大使	
鹿児島県	・薩摩大使		
	薩摩川内市：薩摩川内大使 出水市：出水ふるさと大使 鹿屋市：かのやばら大使 志布志市：志布志市ふるさと大使 伊佐市：伊佐ふるさと大使 鹿児島市：鹿児島市ふるさと大使 始良市：始良ふるさと大使 垂水市：たるみず大使 南九州市：南九州市観光大使 日置市：日置市ふるさと大使	指宿市：・指宿親善大使 ・指宿観光大使 霧島市：おじゃんせ霧島大使 瀬戸内町：奄美瀬戸内観光大使 根占町：ねじめ大使 錦江町：錦江町ふるさと大使 南大隅町：南大隅町交流大使 与論町：ヨロンパナウル王国観光大使 宇検村：宇検村観光大使	本場奄美大島協同組合：本場奄美大島袖大使 奄美観光受入連絡協議会：奄美観光大使 枕崎商工会議所：枕崎大使 鹿児島県漁業協同組合連合会：鹿児島おさかな大使 枕崎水産加工業協同組合：枕崎かつお節大使 鹿児島県陶業協同組合：薩摩焼大使 鹿児島県茶業会議所：鹿児島お茶大使 鹿児島県観光協会：鹿児島親善大使
沖縄県	・美ら島沖縄大使 ・新ウチナー民間大使		
	那覇市：那覇市観光大使 糸満市：糸満ふるさと大使 石垣市：・石垣市親善大使 ・石垣市観光大使 ・石垣市国際観光大使 豊見城市：豊見城市観光大使 竹富町やまねこ観光大使 北谷町：北谷町観光大使	本部町：沖縄本部美らまち観光大使 南大東島村：南大東島観光大使 大宜見村：大宜見村ふるさと観光大使 伊江村：・伊江島観光大使 ・てるしの島観光大使 ・伊江村観光親善大使 渡嘉敷村：渡嘉敷村観光大使	久米島町観光協会：久米島観光大使
制度数	知事委嘱の制度 44団体 88制度 市町村長委嘱の制度 581団体 670制度		諸団体委嘱の制度 141団体145制度 制度合計 766団体 903制度

◆ 新年会員交流会のご案内 ◆

恒例の新年会員交流会を1月26日(金)に開催します。2018年(平成30年)は平成最後の年となるそうですが、その節目の年のスタートに際し、改めて交流を深めたいと思います。お互いの情報・知恵と人脈をつなぎ合い、ふるさとの元気に貢献するとともに、我がふるさとの良さをPRしてください。会員の皆様はもとより、お知り合いの方も誘いあわせのうえ、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

1. 日 時：2018年1月26日(金)
午後6時00分～9時00分
2. 場 所：「KKR東京」11階「丹頂の間」
◇東京都千代田区大手町1-4-1
TEL 03-3287-2921
◇地下鉄東西線「竹橋駅前」の3b出口直結、
千代田線大手町駅c2出口
3. 会 費：6000円
(振込は会費振込口座と同じでお願いします)
4. 飲み物：地酒・ワイン・焼酎などの持込を歓迎します
お申し込みの際は、出席者のお名前と肩書・連絡先を記入してメール又はFaxでご連絡ください。同伴者があ
る場合はお名前を記入してください。未会員の方のお申
し込みの際は紹介者も記入してください。
メール：kasatora7@jcom.home.ne.jp
又はFax 03-5640-1433

第16回ドリーム夜さ来い祭り 開催のご案内

- 【前夜祭】 11月3日(金・祝) [開催時間17時～21時]
(ドリームミュージックステージの実施:18時～21時)
お台場会場・セントラル広場周辺のみで実施
- 【本 祭】 11月4日(土) [開催時間12時～21時]
11月5日(日) [開催時間10時～21時]
※上記時間は予定、雨天決行、入場無料

■お台場 [東京臨海副都心] エリア

- ①お台場会場 (実施本部・グランドニッコー東京 台場前)
- ②フジテレビ会場 (池広場)
- ③ダイバーシティ東京 プラザ前会場
- ④石と光の広場会場 (パナソニックセンター東京前)
- ⑤【同時開催】全国味くらべ&物産展 ～被災地に夢を！～
(仮称・ヒルトン東京お台場・アクアシティお台場間)
- ⑦【同時開催】DREAM YOSACOYを世界共通語に！
世界グルメ・マーケット (仮称・セントラル広場周辺)

■東京丸の内エリア/秋葉原エリア

- ⑧丸の内会場 (行幸通り:丸ビル・新丸ビル間) 11月5日(日)
- ⑨秋葉原UDX会場 (JR秋葉原駅前) 11月5日(日)

【主催】(一財)ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団

【共催】東京都、港区、(一社)東京臨海副都心まちづくり協議会、
フジテレビジョン 他

● 歓迎！新しい会員のご紹介 ●

<個人会員> 2017年7月～9月入会 (敬称略)
横内 正 (北九州市観光大使・俳優) 【浅田和幸氏紹介】
シマダ シュンタ (Event Bankingプロデューサー)
【イトーノリヒサ氏紹介】

全国ふるさと大使連絡会議の概要

(2017年9月末現在)

- 設立年月 1996年8月8日
- 目 的 各地において制度化され、委
嘱されている「ふるさと大使」および「委
嘱者」相互の情報交換・交流・連携を図り、
全国のふるさと・地域の活性化に貢献す
ることを目的とし、その達成のために各
種の事業を行うものとする
- 会員の資格

 - ①ふるさと大使
 - ②ふるさと大使委嘱団体関係者
 - ③ふるさとを愛する人々等

- 会 費 所定の会費(3,000円以上、
団体会員は10,000円)もしくは相応の貢
献寄与をしなければならない

2017年9月末現在の会員構成

大使会員	105名
団体会員	21団体
一般会員	141名
合 計	267名

確認された大使制度

(2017年9月末現在)

県知事が委嘱	44団体	88制度
市長村長が委嘱	581団体	670制度
諸団体等の長が委嘱	141団体	145制度
合 計	766団体	903制度

2017年度年会費納入のお願い

年会費は個人会員3,000円以上(3,000円以上大歓迎)、参与会員5,000円、団体会員は10,000円ですので、2017年度会費の納入をよろしくお願いいたします。

*郵便振替(同封の郵便振替用紙をご利用ください)

*郵便振込の場合

店名一038 普通7211051 口座名:全国ふるさと大使連絡会議

*銀行振込の場合

三菱東京UFJ銀行 亀戸支店 普通0173146 口座名:全国ふるさと大使連絡会議

編集後記

1面でもお知らせしましたが、ようやく当会のホームページを再開しました。当会の話をして、ホームページを見られないため、もどかしい思いをされた方が多いでしょう。年4回のかかわら版では情報量も少なく、スピードに欠けますが、ホームページならかなりの点で補えるはず。会員の皆様の様々な活動の紹介や情報発信に是非役立てていただければ幸いです。

かわら版秋季号には毎年、全国のふるさと大使制度の一覧表を掲載していますが、これは当会が新聞記事やホームページ等で調べて分かった範囲で掲載しているものです。そのため、制度があるのに記載されていないものや、既に廃止されているのに掲載しているものもあると思われます。それでも、こうした網羅的なデータは当会以外にはありません。実際に、制度を持つ当該自治体の職員でも存在を知らないケースも多々あります。より正確なデータにするため、掲載漏れ等、お気づきの点がありましたら、ぜひご連絡いただきますようお願い致します。

ふるさと大使かわら版 2017年10月20日—平成29年秋季号— (通巻85号)

◇発行:全国ふるさと大使連絡会議(代表=浅田和幸)

◇編集責任者:浅田 和幸

◇事務局:〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町36番3号N806

全国ふるさと大使連絡会議

TEL:080-5002-6432

Email:info@furusatotaishi.com